

2019年3月期 第1四半期決算説明資料

株式会社島津製作所

取締役専務執行役員 古澤宏二

第1四半期決算ハイライト



1Q 過去最高を更新

* 売上高・営業利益・経常利益・純利益の全項目で過去最高を更新。

計測・産機が牽引 医用も堅調

- * 計測・産機が牽引。
- * 計測は中国での環境機器が大幅に拡大。
- * 産機はターボ分子ポンプに加えて、真空熱処理炉等が拡大。
- * 医用もX線装置が順調に推移。

収益性向上

* 営業利益率も6.7%に向上し過去最高を更新、収益性向上が進む。

損益計算書

- * 売上高は、前年同期比 13%増。
- * 営業利益は、前年同期比 48%増、為替影響を除くと 51%増。
- * 営業利益率は、前年同期比 1.6ポイント改善し 6.7%に。収益性の向上が進んだ。

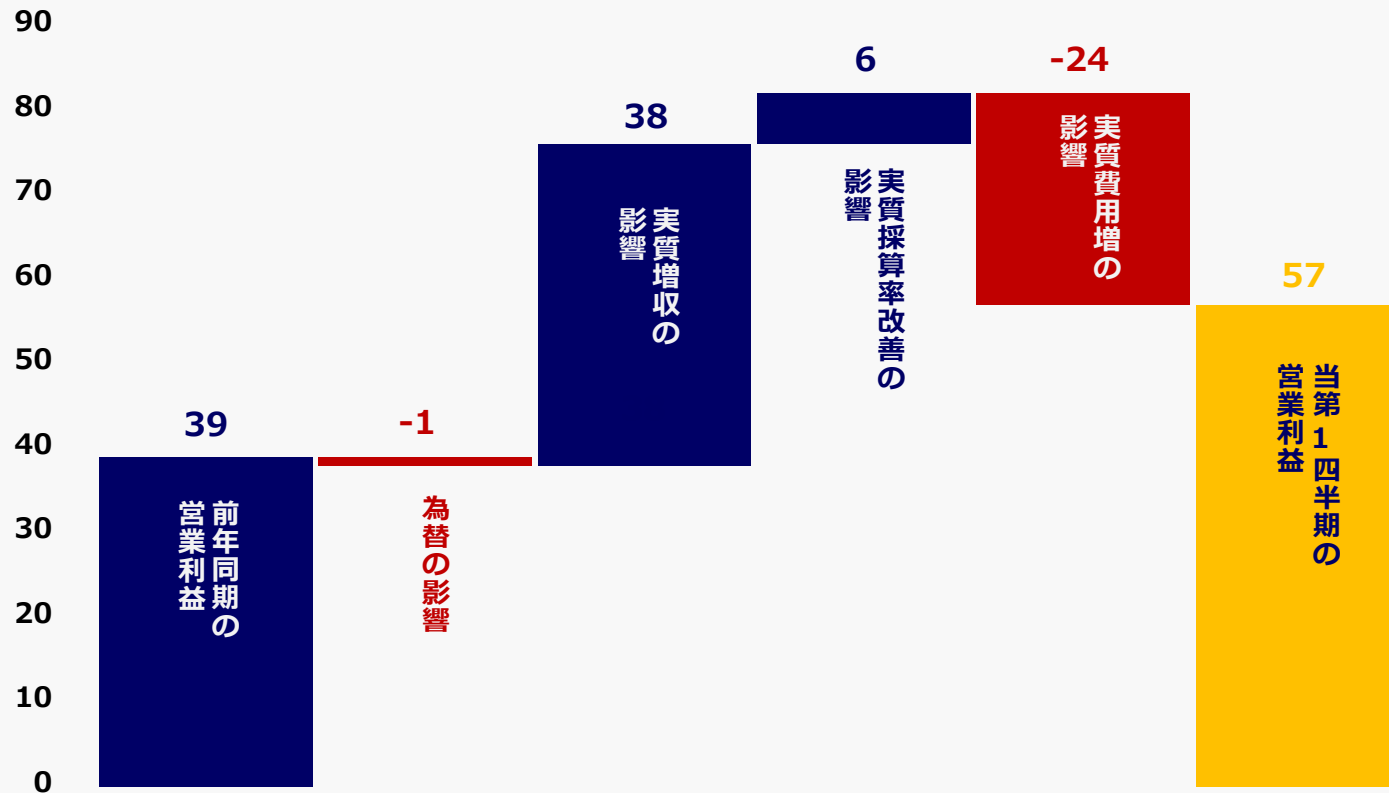
単位：億円, 除く営業利益率, EPS	1Q: 4-6月		前年同期比増加			
	2019.3期	2018.3期	円ベース		除く為替影響	
売上高	857	758	99	13.0%	100	13.2%
営業利益	57	39	19	47.7%	20	51.1%
営業利益率	6.7%	5.1%	1.6 Pts			
経常利益	66	36	30	83.0%		
親会社株主に帰属する四半期純利益	44	24	19	79.2%		
EPS	¥14.77	¥8.24	¥6.53	79.2%		
期中平均為替レート	US\$	¥109.13	¥111.17	¥-2.04	-1.8%	
	€	¥130.10	¥122.23	¥7.87	6.4%	
為替影響額						
売上高		-2				
営業利益		-1				
研究開発費		39	32			
設備投資額		59	31			
減価償却費		28	26			

※営業利益の「為替影響額」・前期比増加の「除く為替影響」には、たな卸資産未実現利益消去の為替影響を含む。

※<為替感応度> US\$: 売上高 12億円・営業利益 4億円, €: 売上高 2億円・営業利益 0.7億円。

利益増減要因(2018.4-2018.6)

単位：億円



事業セグメント別損益

- * 防衛需要の反動減が影響した航空を除き、各セグメントで増収増益。
- * 計測機器は、中国で環境機器が大幅に拡大したことなどで収益性が向上。
- * 医用機器は、増収やプロダクトミックスの改善などで赤字幅が縮小。
- * 産業機器は、ターボ分子ポンプに加えてガラスワインダー・真空熱処理炉などが拡大、収益性が大幅に向上。

単位：億円		1Q:4-6月				前年同期比増減			
		2019.3期		2018.3期		円ベース		除く為替影響	
計測機器	売上高	516	OPM	461	OPM	55	12.0%	OPM	12.2%
	営業利益	57	11.0%	47	10.3%	9	19.9%	0.7 Pts	21.8%
医用機器	売上高	142	OPM	132	OPM	10	7.4%	OPM	7.7%
	営業損益	-1	-0.9%	-6	-4.4%	5	—	3.5 Pts	—
航空機器	売上高	55	OPM	60	OPM	-5	-7.6%	OPM	-7.1%
	営業利益	-6	-10.2%	-4	-7.0%	-1	—	-3.2 Pts	—
産業機器	売上高	119	OPM	93	OPM	26	27.6%	OPM	27.9%
	営業利益	11	9.4%	6	6.1%	5	96.7%	3.3 Pts	x2.0
その他	売上高	24	OPM	12	OPM	12	x2.0	OPM	x2.0
	営業利益	2	6.0%	1	4.4%	1	x2.4	1.6 pts	x2.4
営業利益調整額		-5	—	-5	—	-1	—	—	—
合計	売上高	857	OPM	758	OPM	99	13.0%	OPM	13.2%
	営業利益	57	6.7%	39	5.1%	19	47.7%	1.6 Pts	51.1%

地域別売上高

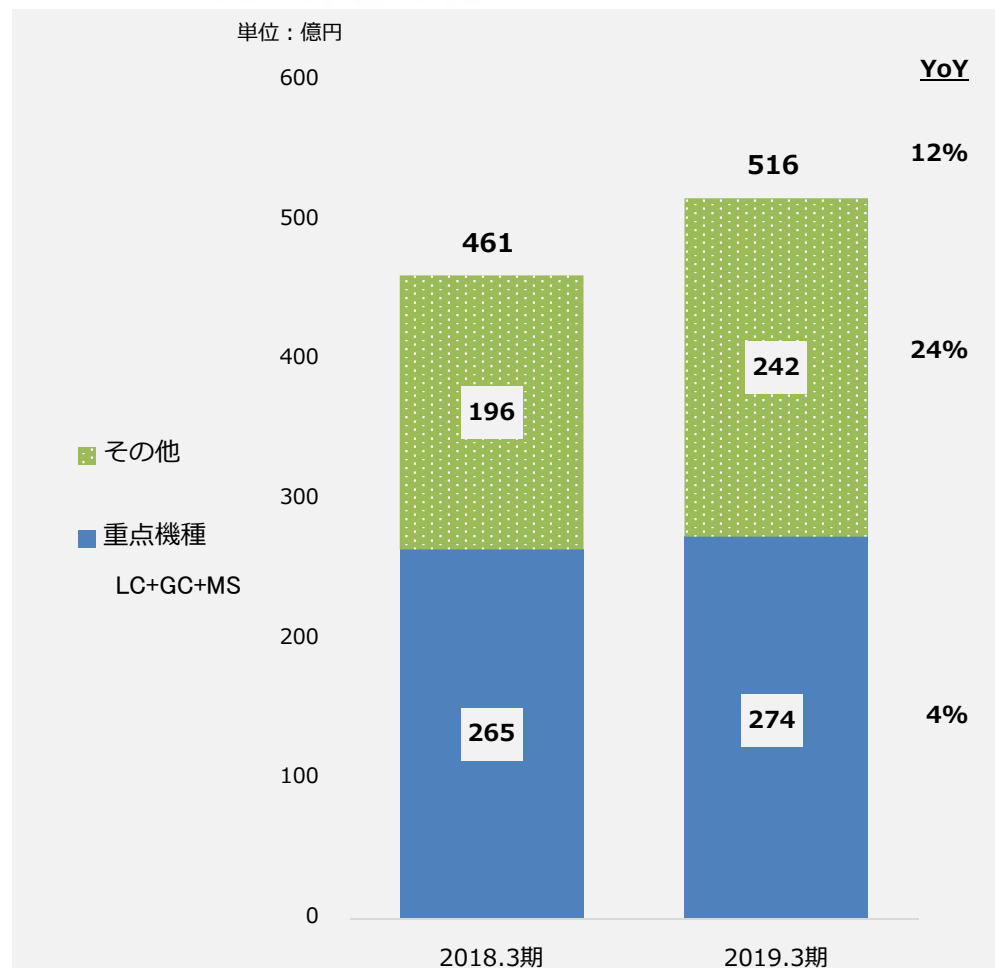
- * 国内外で13%増、海外は除く為替では14%増。
- * 海外では、北米・欧州・中国の主要地域で、除く為替で15%を超え拡大。
- * 海外売上高比率は、前年同期比0.2ポイント拡大し53.7%に向上。

単位：億円	1Q:4-6月		前年同期比増減			
	2019.3期	2018.3期	円ベース		除く為替影響	
日本	397	352	45	12.7%	45	12.7%
米州	119	100	19	18.5%	20	20.2%
北米	106	90	15	17.0%	17	18.6%
欧州	70	55	15	27.8%	11	20.8%
中国	174	154	21	13.4%	23	15.2%
その他のアジア	76	73	2	3.4%	3	4.6%
その他*	21	24	-3	-12.7%	-3	-11.6%
合計	857	758	99	13.0%	100	13.2%
海外売上高	460	406	54	13.3%	56	13.7%
海外売上高比率	53.7%	53.5%				

* 「その他」：オーストラリア・中近東・アフリカ

計測機器 1/3 [サブセグメント売上高]

- » **+12%:** **[計測機器売上高]** 中国での環境機器の拡大や国内での大学案件などで拡大.
- » **+ 4%:** **[重点機種]** LC・MSは北米・欧州では堅調に推移したものの、日本・中国で停滞、GCは国内外で拡大.
- » **+24%:** **[その他]** 中国での汚染源対策強化による需要を取り込み、水質環境モニターが大幅に拡大.
- » **31%:** **[アフターマーケット比率]** 前年同期より1%ポイント向上.



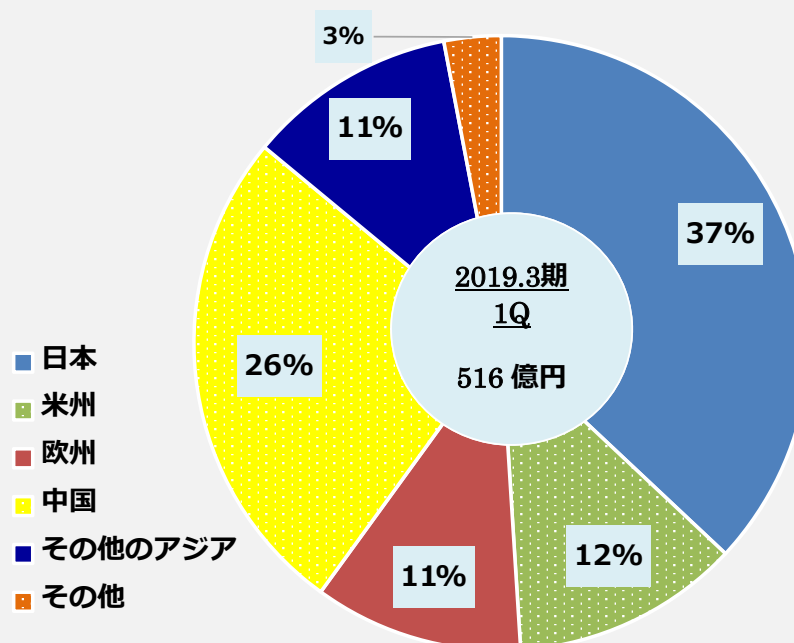
計測機器 2/3 [地域別売上高]

» 海外比率 63%

海外比率は、前年同期比1ポイント減少の63%.

国内では大学案件が、北米と欧州で製薬・CROに液体クロマトグラフが、中国では環境機器がそれぞれ拡大.

〈計測機器地域別売上高構成〉



YoY	
Total	: 12%
日本	: 15%
海外Total	: 11%
米州	: 16%
欧州	: 18%
中国	: 8%
その他アジア	: 8%
その他	: -5%

計測機器 3/3 [エンドマーケット情報]

* 「医薬・CRO・ヘルスケア・食品」、「素材・機械・電機・自動車」、「大学・官公庁」を中心に顧客分野を構成。

* 最大分野の「医薬・CRO・ヘルスケア・食品」では、CRO向けが拡大。

* 「素材・機械・電機・自動車」では、景気回復による研究開発・設備投資の増強、規制対応で素材向けが好調に推移。

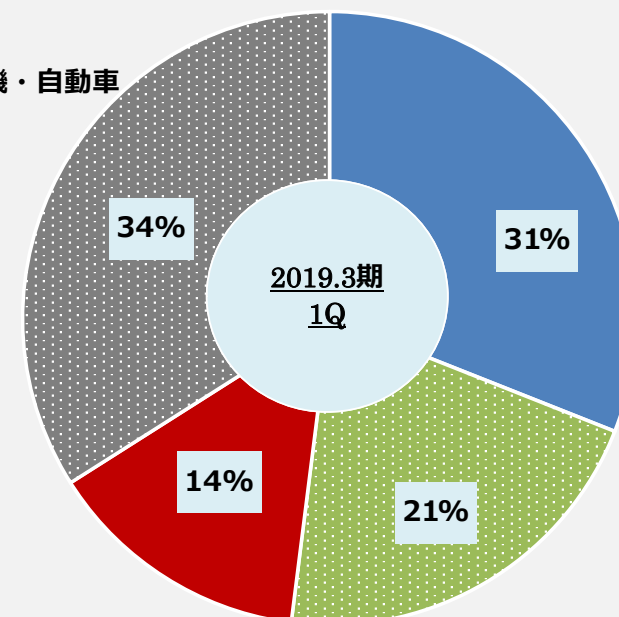
〈2019.3 第1四半期 計測機器分野別売上高構成〉

■ 医薬・CRO・ヘルスケア・食品

■ 素材・機械・電機・自動車

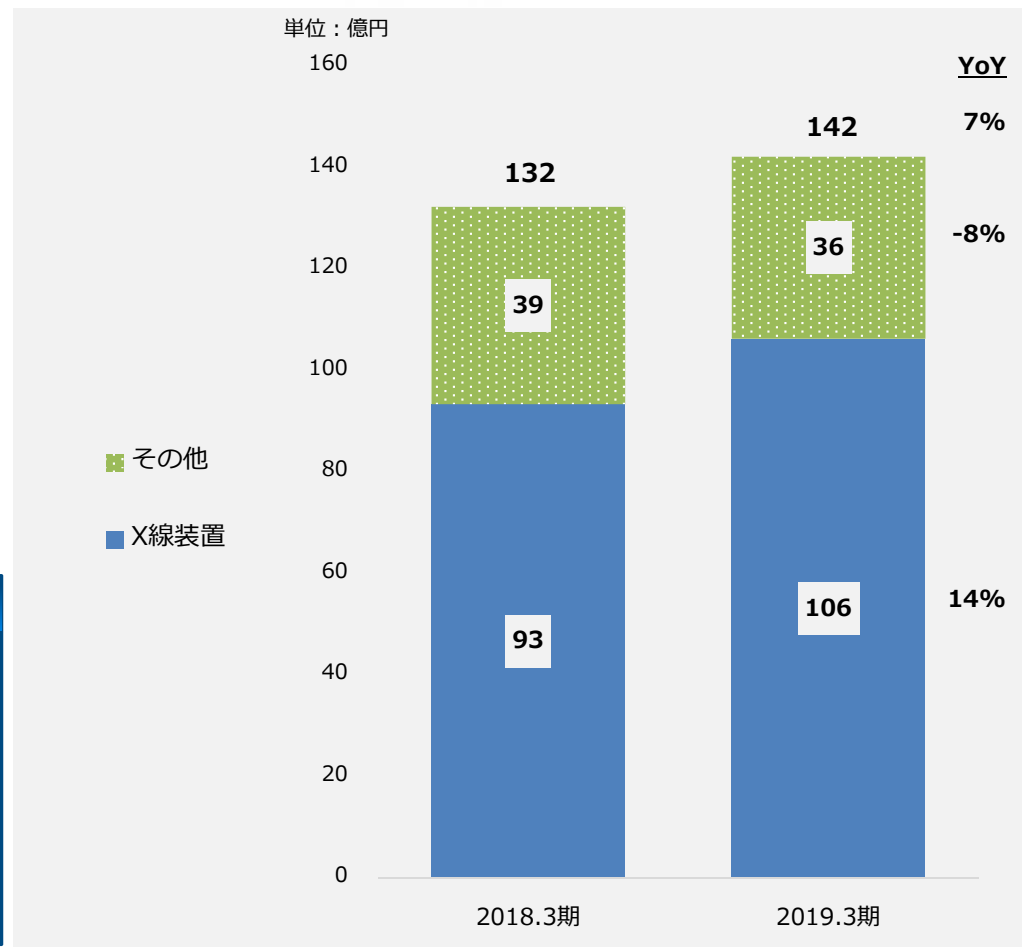
■ 大学・官公庁

■ その他



医用機器 1/2 [サブセグメント売上高]

- » **+7%** : **[医用機器売上高]**
 X線装置が牽引し拡大、その他ではPET装置等が停滞.
- » **+14%**: **[X線装置]**
 X線TV・血管撮影・一般撮影の全ての装置が堅調に推移.
- » **32%**: **[アフターマーケット比率]**
 アフターマーケット事業も前年同期より拡大、血管撮影装置の大幅な拡大で比率は前年同期より減少.



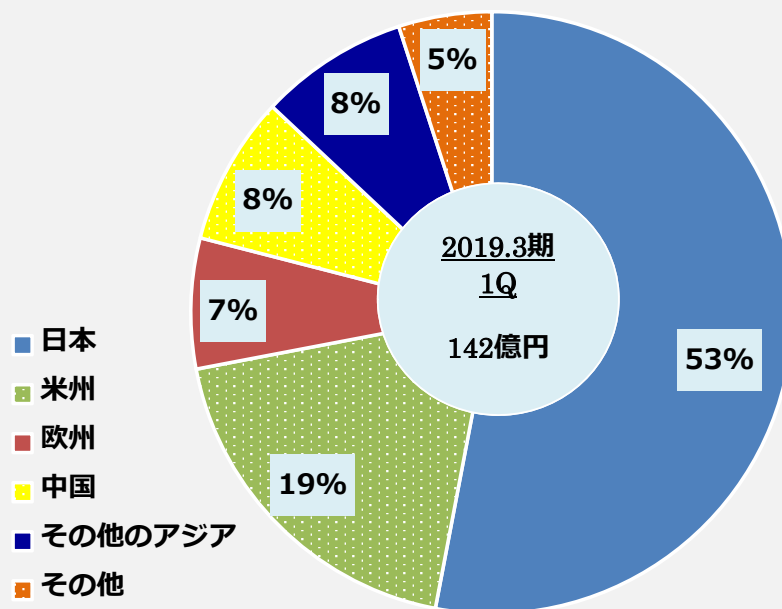
医用機器 2/2 [地域別売上高]

» 海外比率 47%

海外比率は、前年同期比5ポイントと大きく向上し47%。

日本では診療報酬改定の影響もあり停滞したが、米州・欧州・その他のアジアで拡大。

〈医用機器地域別売上高構成〉



YoY

Total : 7%

日本 : -1%

海外Total : 19%

米州 : 22%

欧州 : x3

中国 : -1%

その他のアジア : 9%

その他 : -25%

産業機器 1/2 [サブセグメント売上高]

» **+28%:** **[産業機器売上高]**
ターボ分子ポンプ・油圧機器・その他の全てで拡大.

» **+14%:** **[ターボ分子ポンプ]**
半導体・フラットパネル分野に向け安定的に推移、
二桁%の拡大を持続.

» **+92%:** **[その他]**
真空熱処理炉がセラミックス・超硬工具分野等
で、またガラスワインダーも中国で大幅に拡大.

主要製品



ターボ分子ポンプ

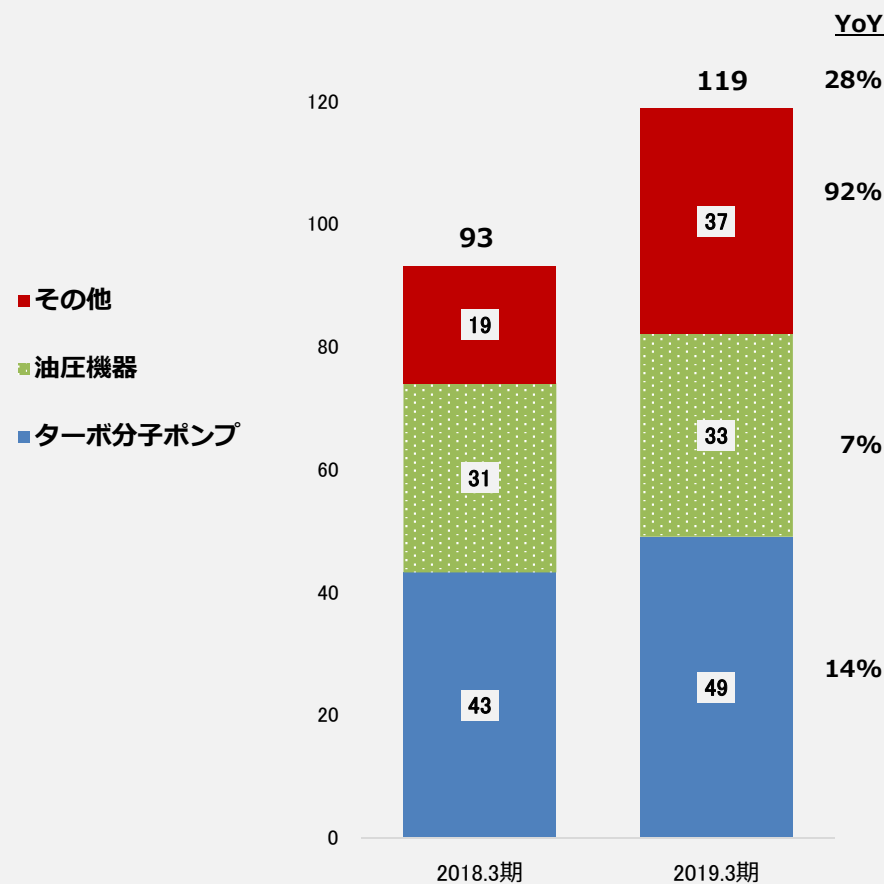


真空熱処理炉



油圧機器

単位：億円



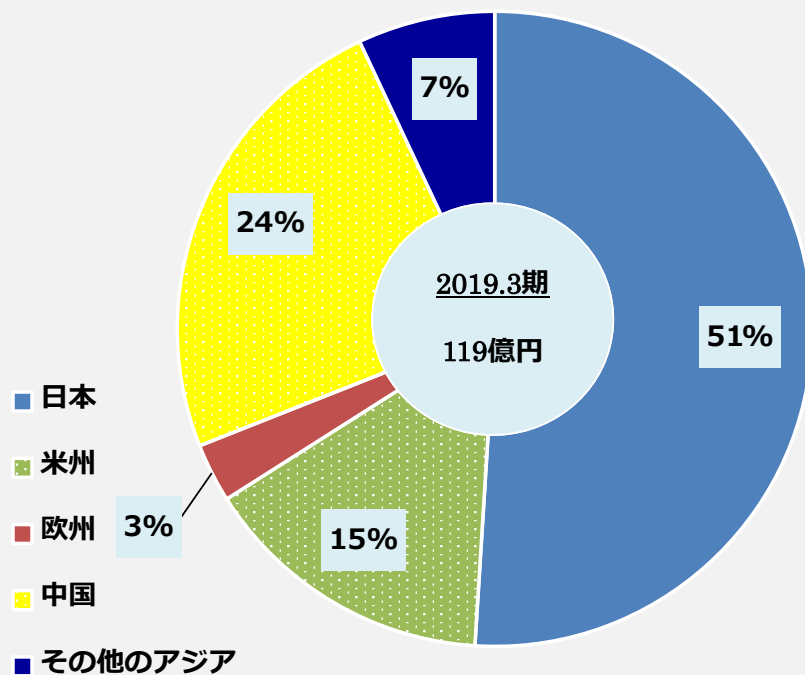
産業機器 2/2 [地域別売上高]

» 海外比率 49%

海外比率は、前年同期比2ポイント減少し49%。

日・米ではターボ分子ポンプ・工業炉が、中国ではターボ分子ポンプ・ガラスワインダーを中心に拡大。

〈産業機器地域別売上高構成〉



YoY

Total : 28%

日本 : 32%

海外Total : 23%

米州 : 25%

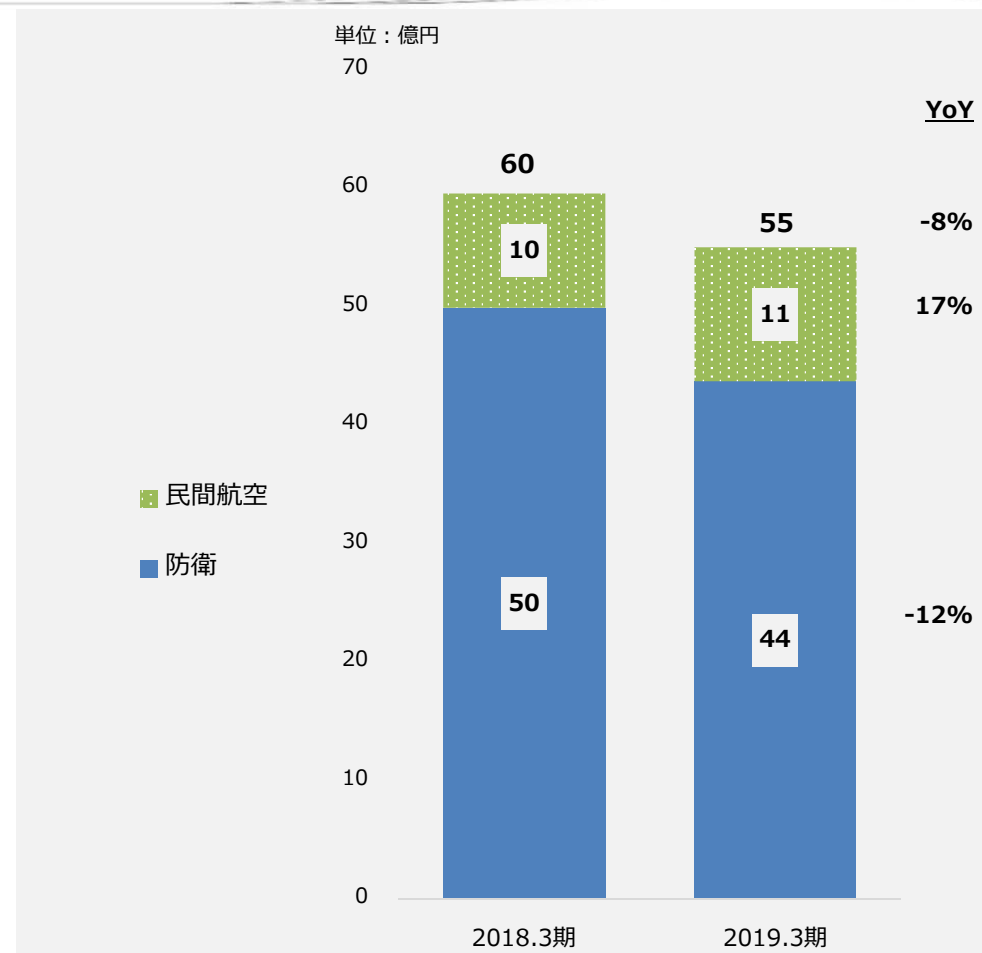
欧州 : -11%

中国 : 57%

その他アジア : -23%

航空機器 [サブセグメント売上高]

- » **-8%** : **[航空機器売上高]**
国内防衛事業は減少、一方ボーイング等旅客機向け搭載機器は拡大.
- » **-12%** : **[防衛事業]**
大幅に伸びた前年同期の反動で減少.
- » **17%** : **[民間航空事業]**
ボーイング等旅客機搭載機器は回復.



業績予想

- * 期初公表を据え置く。
- * 予想されるグローバルな好況下で、増収増益を計画。
- * 営業利益については、中期経営計画を1年前倒して達成の見通し。
- * 6期連続の業績更新を目指す。

単位：億円, 除く営業利益率, EPS		年間		前期比増加		
		2019.3期計画	2018.3期	円ベース		除く為替影響
売上高	3,900	3,765	135	3.6%	205	5.4%
営業利益	450	428	22	5.1%	45	10.5%
営業利益率	11.5%	11.4%	0.1 Pts			
経常利益	440	419	21	5.1%		
親会社株主に帰属する当期純利益	320	298	22	7.2%		
EPS	¥108.63	¥101.26	¥7.37	7.3%		
期中平均為替レート	US\$	¥105.00	¥110.91	-5.91	-5.3%	
	€	¥130.00	¥129.75	0.25	0.2%	
為替影響額		※ <為替感応度> US\$: 売上高 12億円・営業利益 4億円, €: 売上高 2億円・営業利益 0.7億円				
売上高	-70					
営業利益	-23					
研究開発費	170	155				
設備投資額	230	172				
減価償却費	117	106				

事業セグメント別業績予想

- * 計測・医用・産業の各セグメントで増収増益を計画。
 * 産業の営業利益率は、9%を越え二桁%に近づく見通し。

単位：億円		年間				前期比増減		
		2019.3期計画		2018.3期				
計測機器	売上高	2,410	OPM	2,316	OPM	94	4.1%	OPM
	営業利益	388	16.1%	370	16.0%	18	4.7%	0.1 Pts
医用機器	売上高	695	OPM	659	OPM	36	5.4%	OPM
	営業利益	32	4.6%	27	4.1%	5	18.5%	0.5 Pts
航空機器	売上高	265	OPM	276	OPM	-11	-4.1%	OPM
	営業利益	8	3.0%	5	1.7%	3	67.0%	1.3 Pts
産業機器	売上高	465	OPM	442	OPM	23	5.2%	OPM
	営業利益	44	9.5%	41	9.2%	3	7.7%	0.3 Pts
その他	売上高	65	OPM	72	OPM	-7	-10.0%	OPM
	営業利益	8	12.3%	9	10.1%	-1	-10.2%	2.2 pts
営業利益調整額		-30	—	-24	—	-6	—	
合計	売上高	3,900	OPM	3,765	OPM	135	3.6%	OPM
	営業利益	450	11.5%	428	11.4%	22	5.1%	0.1 pts

ご参考/計測機器地域別売上高

単位：億円	第1四半期		前期比増減			
	2019.3期	2018.3期	円ベース		除く為替影響	
			額	率	額	率
日本	193	168	25	14.7%	25	14.7%
米州	64	55	9	15.7%	9	17.1%
北米	55	48	7	15.4%	8	16.7%
南米	9	7	1	18.0%	1	20.1%
欧州	56	48	9	18.0%	5	11.3%
中国	134	124	10	8.2%	13	10.2%
その他のアジア	56	52	4	7.6%	5	9.1%
その他*	14	15	(1)	-4.7%	(1)	-3.4%
合計	516	461	55	12.0%	56	12.2%
海外売上高	324	293	31	10.5%	32	10.8%

* 「その他」：オーストラリア・中近東・アフリカ

ご参考/医用機器地域別売上高

単位：億円	第1四半期		前期比増減			
	2019.3期	2018.3期	円ベース		除く為替影響	
			額	率	額	率
日本	76	77	(1)	-0.9%	(1)	-0.9%
米州	27	22	5	22.1%	5	24.3%
北米	23	20	3	15.4%	3	17.6%
南米	4	2	2	77.0%	2	80.1%
欧州	10	4	7	x3.0	6	x2.8
中国	11	11	(0)	-0.8%	0	1.0%
その他のアジア	11	10	1	9.1%	1	10.5%
その他*	7	9	(2)	-24.5%	(2)	-23.7%
合計	142	132	10	7.4%	10	7.7%
海外売上高	66	56	11	19.0%	11	19.5%

* 「その他」：オーストラリア・中近東・アフリカ

ご参考/産業機器地域別売上高

単位：億円	第1四半期		前期比増減			
	2019.3期	2018.3期	円ベース		除く為替影響	
			額	率	額	率
日本	60	46	15	32.1%	15	32.1%
米州	17	14	3	24.9%	4	26.8%
北米	17	14	3	24.9%	4	26.9%
欧州	3	3	(0)	-10.9%	(0)	-11.4%
中国	29	19	11	56.5%	11	57.2%
その他のアジア	9	11	(3)	-22.5%	(3)	-23.1%
合計	119	93	26	27.6%	26	27.9%
海外売上高	58	47	11	23.2%	11	23.8%

ご参考/航空機器地域別売上高

単位：億円	第1四半期		前期比増減			
	2019.3期	2018.3期	円ベース		除く為替影響	
			額	率	額	率
日本	44	50	(6)	-12.4%	(6)	-12.2%
米州	11	9	1	16.4%	2	18.5%
北米	11	9	1	16.4%	2	18.5%
合計	55	60	(5)	-7.6%	(4)	-7.1%
海外売上高	11	10	2	17.2%	2	19.4%



本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。